

旧庁舎跡地活用に関する説明会要旨

平成 23 年 5 月 23 日（月） 18:30 麴町区民館 地下 1 階洋室

区説明者：歌川部長・松本参事・島崎部長・清古部長・関参事・古田副参事

出席者 35 名

質疑応答等

○説明会資料 2 ページの区議会「旧庁舎跡地の活用に関する特別委員会」は現在どうなっているのか。

→・本年 4 月 30 日で議員の任期が切れたことに伴い、特別委員会も現在は無い。改選後の議会構成を決めるために 5 月 24 日に区議会臨時会が開催される予定なので、以前と同じような目的で特別委員会が設置されることも考えられる。

○旧庁舎跡地周辺の一体活用が課題だと思う。

→・3 月の大震災の後に九段会館が閉鎖され、（遺族会から）国に返還される。また旧庁舎の隣には千代田会館がある。大きな 3 つの敷地があって貴重な立地である。3 者が連携していくことは大事なことだが、両隣がそれぞれすぐ開発等に動くことはないので、それを待っていると何年後になるかわからない。今は旧庁舎跡地に高齢者総合サポートセンターと九段坂病院を整備していくことを提案している。

○発言の記録はとっているのか。記録として残してほしい。

今回の説明では（計画が）決定した印象を受ける。20 年 6 月の意見公募では文化系に 67 件、公園・農園に 25 件提案があった。医療・福祉系の 103 件が走ってしまったように思われる。早く整備したいという区の気持ちはわかるが、旧庁舎跡地は皇居に近く、景観上重要な場所である。高さや景観上の関係は？今回説明がない。地下を駐車場にすると、お壕の水との関係もある。福祉の内容を説明するのはいいが建物、景観の説明が必要。全体的な説明はいつごろか。

→・本説明会の質疑は録音しており、職員がメモをとっている。記録として質疑の概要を作成し、公表する予定である。

・施設計画は説明会資料 15、16 ページで説明している。資料では地下のことには触れていないが、駐車場や機械室等の配置を考えている。旧庁舎と同じ地下 2 階程度を考えているので、今の旧庁舎以上に深く掘ることはないと思う。

○九段会館が国に返還される。区が急ぐのはわかるが（九段会館の土地をどうするかについては）国も急いでいると思う。2、3 年の差なら待って一緒に考えた方がベターではないかと思う。

→・九段会館は歴史上の価値ある建物でもある。遺族会が国に返還してもその後について結論を出すのは非常に大変なことだと思う。2、3 年で動く保証はない中（区が急いでいるというのではなく）、区民の皆さんの生活状況などを考え（在宅で介護や医療が必要な高齢者を抱えている方が多い）現

実問題として日々困っている方のためにも早く整備した方がいいと思っている。そういった事情から、高齢者総合サポートセンターを整備する計画を考えている。

○九段中学校の方が敷地は広いと思う。

→・高齢者総合サポートセンターについて検討する過程で整備候補地として九段中学校も調査を行ったが前面道路が 6m なく、容積率（400%）が使えない。また、急な坂があること、周辺に住宅地が多く、夜間の救急車の通行などを考慮し、九段中学校の跡地は病院の場所としては適さないと九段坂病院も述べている。

○具体的な建物など全体については改めて説明する予定はあるのか。

→・今回の説明会を経て合意がとれれば基本協定、設計に入る。そこでやり取りがある。

○合意がとれなければ戻すのか。

→・区議会での議論を含めて今回の整備計画を提案している。第 2 案はないので、合意が取れなければゼロからになると思う。

○高齢者総合サポートセンターについては区から説明があったが、九段坂病院の人たちは（この場に）いるのか。高齢者総合サポートセンターについて区の意向はよくわかったが、九段坂病院の運営下でどれだけ区の意向が反映されるかわからない。九段坂病院から説明がないから保証がない。病院の人を呼んでほしい。

→・区と九段坂病院とで協議を詳細に行っている。今回の説明会にあたって資料についてもお互いに確認し、了解している内容をお示ししている。

○九段坂病院の人にも同席して言ってほしい。

→・これからの手続きとして、きちんと契約（基本協定）をして区の意向を担保することが大事である。

○九段坂病院も事業者である。自分たちの将来のことを考えている。なぜ説明会に出ないのか。事業者として区民に理解を求めて事業をしていくものではないか。まわりに認められる形で進めるものではないか。

→・病院も説明会に出る形も選択肢として考えられる。今回、区だけで行ったのは、旧庁舎跡地の活用が区議会を含めて決定されていない中で、相手方（病院）を同席させるのは得策ではないとの考え方、判断である。

○九段坂病院は庶民的で虎の門病院などと比べて敷居も低く、区民の病院としていい病院が来ると思っている。

○10 ページの移転改築後の新たな機能は病院からの提案なのか、区の考えなのか。

九段坂病院の整形外科は混んでいるが、他の科はそうでもない。
資料中に出てくる「サービス」という言葉が「やってあげる」という感じがする。

→・平成 19 年 5 月に九段坂病院から区役所跡地への移転要請があり、区は高齢者総合サポートセンターについての考えを伝えた。協議を重ねる中で、具体的な整備の機能について病院から提案が出された。「サービス」という言葉は、九段坂病院が「やってあげる」という趣旨ではない。

○区民の中には自分が優先的に利用できる病院と思っている人もいると思う。合築することで区民にどんなメリットがあるのか。

2 ページの経緯で、議会で委員会ができる前に区長が九段坂病院に合意書を出したことを明らかにするべき。区民にも区議会にも言わないで区長が回答していることをつまびらかにした方がいいのではないか。

→・九段坂病院が入ることによって高齢者総合サポートセンター機能が果たされ、また、協議を重ねるなかで、区がイメージしている在宅ケア（医療）拠点のサポート機能について理解、協力が得られている。他の医療機関ではだめということではないが、これ以上の機能が提供されることは難しいと思う。地域医療の向上では 24 時間初期救急、緊急入院受け入れ、産科小児科の優先的紹介など。また、回復期リハビリテーション病棟は 40 床が認められなくても設置する考えを病院は示している。

→・説明会資料に（3 ページ）平成 22 年 11 月に病院の設置者である国家公務員共済組合の理事長が区役所跡地への移転を区に要請したことを記載している。その要請文に対して区長名で回答文を出したことが書いていないということだと思う。回答文は「病院が高齢者総合サポートセンターの機能確保と地域医療の向上に貢献することを前提として、合意できるよう協議していこう」という内容であり、やり取りを意識的に隠すつもりはなく、22 年 11 月に要請があったことを述べている。区議会も含めて周知のこととして進めてきていることで、回答文で新しいことをしたわけではない。

○病床数 40 床の増床が認められなかったら 172 床（現在の病床数 212 床から 40 床引いた数）で我慢するのか。

→・現在の 212 床の中で回復期リハビリテーション病棟を実施する意向。

○1 床あたりの面積（75～80 ㎡）から 19,000 ㎡を確保するための数字合わせではないのか。

→・数字合わせではない。純粹に回復期リハビリテーション病棟が区及び周辺で不足している状況を改善したいという思いである。

○早く計画案を進めてほしい。今日の会場の質問が手続論ばかりで、中身について議論していただきたい。高齢者施設を作るのであれば、高齢者総合サポートセンターのプログラムに健常者や子どもが利用できるようなプログラムを作してほしい。

→・多世代交流拠点は十分議論していく必要がある場所。高齢者総合サポート

センターは高齢者のためだけではなく、いろいろな人が集う、だからこそ区役所があった大事な場所だと感じられる施設にする時に建設的なご意見をいただき検討していきたい。

○他の会場ではどのような意見が多かったのか。

今回の計画はいいことだと思う。九段坂病院が行うことは千代田区民優先なのか。

- ・医療では初期救急については区民優先で考えている。介護サービスについては区民の方優先になると思う。
- ・他の会場でも、長期間入院、入所できる施設の方が切実なのではないかという意見もある一方で、すべての機能をこの旧庁舎跡地で実現するのは不可能で、サポートセンターも必要な機能。長期間入所できる施設は他の場所と考えてもらえばいい、両者は相反するものではなく両立できるという意見もあった。また、九段会館が閉館することに関連した意見、地下が何階になるのか、地下を使う場合の問題点、人間ドックを使う場合の料金、利用できるサービスが増えるのはいいいが高い値段ではなく受けられるようにしてほしいなど。

○九段坂病院はぜひ残してもらいたい。九段坂病院に我々の考えは通じるのか。

- ・皆様からの意見は、KKR・九段坂病院と協議する際に伝えていく。

○人口5万人弱のうち、294件回答があった。医療福祉に賛成したと思う。

○説明会資料8ページの高齢者総合サポートセンターは千代田区民優先と考えていいのか。また、65歳以上の高齢者が約20%の状況で、施設の完成が平成27年となっているが、話を詰めてなるべく早めてもらいたい。

- ・高齢者総合サポートセンターは千代田区民のための施設である。区としては、高齢者の方の安心を支えるために計画を進めたい。

○意見募集の期間をもっと長くしたらよかったのではないかと。新しい議会の決を得て、多くの区民の理解をもって新しい施設を建設してもらいたい。

○国家公務員共済組合（KKR）の病院がくるのか。区は付随した高齢者総合サポートセンターを作るのか。

- ・整備する施設の床面積を比べると病院の割合が大きいのは事実だが、面積的には小さいが、高齢者総合サポートセンターの整備が本来の趣旨。主たる目的の高齢者総合サポートセンターを支援し、さらに地域医療向上への支援を病院に求めるというスタンスで取り組んでいる。

○KKR理事長が話をするのは筋だと思う。事業主体が説明するべきではないか。

- ・ご指摘のように九段坂病院のスタッフが来て説明することもある。しかし、今回の説明会は、区が必要と考えている高齢者総合サポートセン

ターの整備についてご説明し、ご意見をいただくことが目的である。3月の説明会や個別説明でも、病院主体で高齢者総合サポートセンターは付随なのではないのかという意見（主客転倒しているのではないか）もいただいたが、区としては高齢者総合サポートセンターを作り、その補完する施設として九段坂病院があるというスタンスを持っている。

○九段坂病院が旧庁舎跡地を見て申し込んできたから話が出てきたのではない。高齢者総合サポートセンターは旧庁舎跡地でなくてもできる。いきいきプラザにもできている。

→・ご指摘のサポートセンターはあんしんセンター、地域包括支援センターのことだと思う。

介護保険制度で不十分な部分は高齢者福祉サービスを充実するために取り組んできた。施設が足りない一方、生まれ住んできたところで一生を終えたいが家族に頼るわけにもいかず、施設に入る声もあった。区として医療と介護が連携するため何ができるかを提唱したのが平成15年度…。（説明途中で発言があり中断）

○千代田で生まれ育った人が千代田で死にたい。でも区内には病院がない。ほとんどが郊外の療養型病床に行っている。そういう病院が考えられるなら、区民のためにプラスになると思う。

→・区内で特別養護老人ホームのベッド数が約150で、約200人が待機している状況はある。できるだけ自宅でと思っている方が不安に思っているものを少しでも受け止められるものが必要なのではないか。

○千代田には拠点が少ない、業者が少ないと言っているが、他区からきてやっている。入院施設がない。

→・他区の事業者を利用されている方はいるが、在宅療養診療や訪問看護などを提供する事業者が少ないのが現実である。入院施設、入所施設を望む声が少なくないこと、そのような施設整備を優先すべきだという考え方もあると思う。

○そういう通り一遍の回答で済むのか。

→高齢者総合サポートセンターを作ろうと考えた背景を説明している。ただ、高齢者総合サポートセンターができれば全てが解決するとは思っていない。

○跡地を高齢者総合サポートセンターにするつもりで区役所を移転したのか。

→・それは違う。

千代田区のある医療圏では新たに病院を誘致するのは不可能。

○長期療養が必要で、都外など遠方の病院に入院せざるを得ない高齢者が少なくないのだから、九段坂病院に担ってもらったらどうか。

→・高齢者総合サポートセンターの整備に当たっては九段坂病院の持っているリハビリテーション機能も活かせると思っている。入院にはならなくても

リハビリやサポート機能で高齢者の回復…

○回復期リハビリテーションは3か月から6か月くらいである。それ以後は入れないことを考えているのか。

→・回復期の後は維持期（自宅）で。

○自宅ですべてを行うのは難しい。自宅療養を考えるが、病院に収容できるのであれば収容するのが本来だと思う。自宅で介護していない人の意見は尊重できない。

○ひとり暮らしの高齢者の方も、千代田区で最後を迎えたいという人が多い。サポートセンターを活用しながら必要な部分は入院して、そのあと地域へ戻る。在宅サービスを利用しながら最後を迎えられるのではないかと。病院、箱物を作るだけでなく、活用しながら千代田区で最後を迎えたい人をサポートしていきたい。

○3.11 で大きな財政負担を強いられている。そのなかで自立型介護型の医療は不可避だと思う。病院を増やしてもらいたいところだが、今の枠の中で考えると、千代田で息を引き取るまでいさせる仕組みづくりが必要。総合診療科は高齢者に限った書き方をしている。健常者、子どもも含め広めに診てもらいたい。高齢者の不安を取り除くため、早急に作ってほしい。この説明会が、区民の意見が、声が通るものと信じている。

○高齢者総合サポートセンターの考え方は賛成。でもこの機能を作るためにどうして九段坂病院なのか。高齢者問題と九段坂病院と一緒に議論するのは違うと思う。濠のそばに高さ 60mのものを建てなければならないのか。また、病院を作ると土地の転用がしにくくなる。よく考えて計画を進めてほしい。

(20:38 終了)